



内 容

技術分野

学期・月	教材名	学習活動
1 学 期	4	オリエンテーション ◇技術・家庭の授業の目標、内容、評価、授業の約束などを 知る。 ○見通しをもち積極的に取り組むことを目指します。
	5	【栽培】 「なす・ピーマン」の 栽培 ○野菜の栽培 なすとピーマンの選択栽培（一人一鉢栽培） ○作物が良く育つ環境 ○栽培の基礎 ・栽培の方法（露地栽培、施設栽培、容器栽培、培 養液栽培） ・植物の増やし方（種、さし芽(木)、株分け） ・土作り、肥料について（元肥、追肥、化学肥料、 有機質 肥料）
	6	・日常の手入れ（誘引、摘芽、除草、追肥、灌水） ・農薬の害、連作の害、 ・栽培に適した土（酸性・中性・アルカリ性）
	7 9	○栽培実習のまとめ
2 学 期	10	【情報】 ○プログラムによる計測・制 御 ○コンピュータを用いた計測・制御の基本的なしくみを知 り、目的にあった情報を処理する手順を考える。 ・生活の中にある計測・制御 ・計測・制御のしくみ ・情報処理の手順とプログラム
	11	・プログラミングの基礎 ○ Allmay を用いたオリジナル便利グッズの設計・制作 ・プログラムの基礎（フローチャート） ・簡単なプログラミング（順次構造） ・判断分岐のプログラム（分岐構造） ・繰り返しのプログラム（反復構造） ・目的や条件に適した計測・制御システムの設計・制作
	12	
3 学 期	1	○情報に関する技術の今後の 活用 ○情報に関する技術が、社会・環境に果たしている役割と 影響について理解を深め、情報に関する技術の適切な評 価と活用について考える。
	2	○技術とわたしたちの未来 ○技術とわたしたちの未来について考え、これからの技術 に積極的に関わろうとする態度を養う。
	3	

評 価

技術分野 <評価の観点>

- ① 関心・意欲・態度
 - ・実習に集中して取り組み、毎時間の課題を計画的に進めることができる。
 - ・ノートやプリントをきちんとまとめる。
 - ・持ち物をきちんと用意して授業に集中しまとめることが
- ② 創意工夫する能力
 - ・コンピュータの周辺機器を工夫して活用できる。
 - ・効率的に作業しようと工夫する。
- ③ 生活の技能
 - ・画面の表示について、見やすい画面に加工できる。
 - ・データ入力や修正を効率的できる。
- ④ 知識・理解
 - ・コンピュータを正しく使用できるための基礎的知識を身に付ける。
 - ・情報の光と影について理解し、コンピュータを過信しないことの重要性を理解する。



<評価の方法>

・毎時間の授業への取組、制作物の工夫・努力・仕上がり具合、作業記録表、ノート・プリントなどの学習活動、定期テストを基にして総合的に評価する。

授業中

- ① 授業の準備をする。
(道具や材料の忘れ物をしないなど授業の約束を守る)
- ② 目的と意欲をもって授業に臨む。学ぶべきところを学ぶ、高め磨く。
- ③ 創意工夫して作品を制作する。



復習

取り組んだ作品、制作物が期限内に完成できるように、「何を」「どうしたらよいか」など、自己評価しながら取り組む。
(遅れてる場合、自分でできることを行う。)
*自分以外の作品から学び、次の学習に生かす。

※ 安全で、気持ちのよい授業ができるように、授業の約束は守る。